



秋桜(コスモス) 花言葉：調和、乙女の純真

四万十川ニュース

Vol.123

中村河川国道事務所 平成30年11月20日

第50回四万十川自然観察会



保護区草刈り



結実株の観察



マイヅルテンナンショウ
結実株

実は熟すと赤く色づきます!

平成30年10月13日(土)、四万十川自然再生協議会とマイヅルテンナンショウの会が、高知県希少野生動植物保護条例により高知県指定希少野生動植物に指定されているマイヅルテンナンショウの保護区(四万十川入田河川敷)で四万十川自然観察会を開催しました。この日は、マイヅルテンナンショウの結実株の観察と保護区の草刈りが行われました。

参加者は、人の背丈ほどに高く成長したセイタカアワダチソウなどをかき分け、時には草の中にもぐり込むようにしながら結実株を探索したり、見つけた株を傷つけないよう声を掛け合いながら、手鎌や刈払機を用いていねいに草を刈っていました。また、前回の観察会のときに生育していた場所に立てていた目印杭の多くが出水により倒れていたため、探索にあわせて杭の再設置も行いました。

第23回螢湖まつり

中筋川ダム「螢湖まつり」が、平成30年10月28日(日)に開催されました。ステージで行われるイベントの音楽や歓声に包まれ、立ち並ぶテントからは幡多の味覚のいい香りが漂ってくるなか、中村河川国道事務所は四万十川自然再生事業や道路事業をパネルで紹介しました。たくさんの方々足を止めて下さり、特に11月17日に開通した片坂バイパスには皆さん興味津々の様子でした。

また、隣のブースでは、当事務所と協働して自然再生事業に取り組んでいる四万十川自然再生協議会が、ダム湖周辺の植物の名前当てクイズを行いました。自信を持って答えた名前が実は幡多地域独特の呼び名であると知り、目を丸くする来場者もいました。

このほか、ダム内部のイルミネーション、自衛隊の制服試着やミニバックホウの乗車体験、ゆるキャラとの写真撮影なども行われ、訪れた親子連れなど約1,500人は秋晴れの日を楽しんでいました。



ゆるキャラ

おもち投げ・お菓子投げ

ダム内部見学

自衛隊の制服試着体験

中村河川国道事務所 事業PR

ダム周辺の植物クイズ

秋の「ツルの自然体験学習会」

四万十川自然再生事業(ツルの里づくり)の一環として、四万十川の里づくりの会と共同で開催している「ツルの自然体験学習会」を、平成30年11月2日(金)に行いました。この取り組みは、次世代のツル類の守り手を育成することを目的として、平成18年度から毎年夏と秋に実施しています。

この日は、夏の学習会にも参加した東中筋小学校の6年生と東中筋中学校の1年生、計33名が参加しました。子どもたちは、はじめに四万十市立東中筋中学校でツルについて学び、その後、つるの会がえさ場づくりをしている江/村箇所に移動し、ツルを呼び寄せるための「テコイ」の設置や、田んぼの水生物観察、あぜ道の草刈りと啓発看板の清掃を行いました。「今年もツルがいっぱい飛んで来てくれると嬉しいです!」といった感想が聞かれました。

四万十市には、今年も10月末頃からたくさんのツルが飛来しています。この江/村地区でもたくさんのツルの姿が見られることを願っています。



テコイ設置



水生物調査

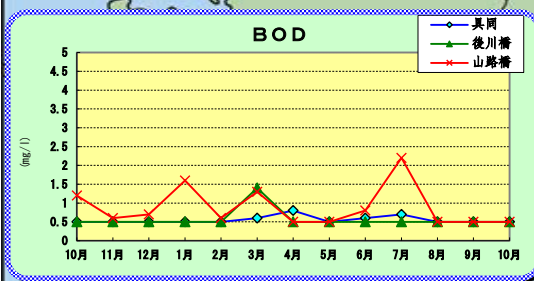
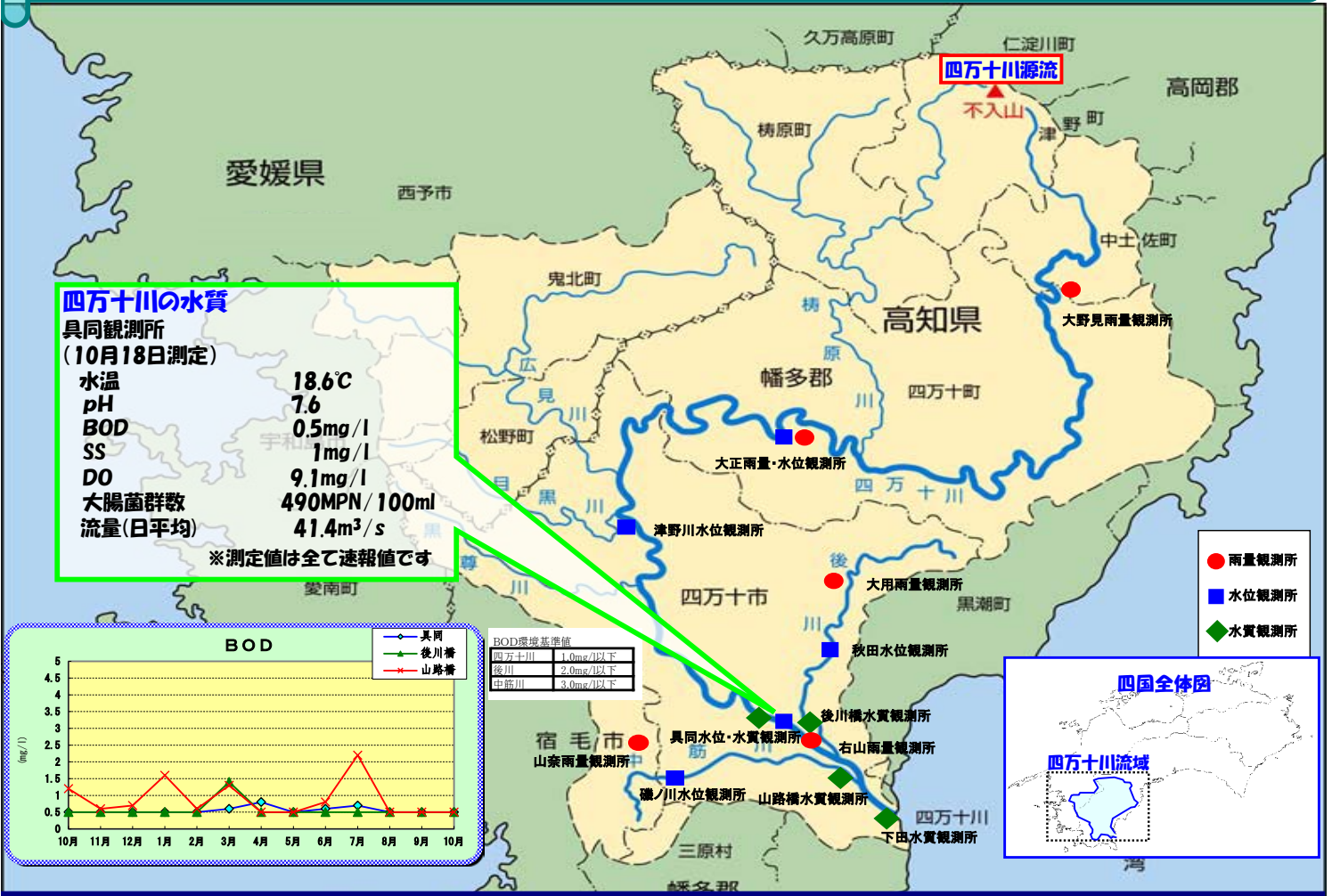
四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

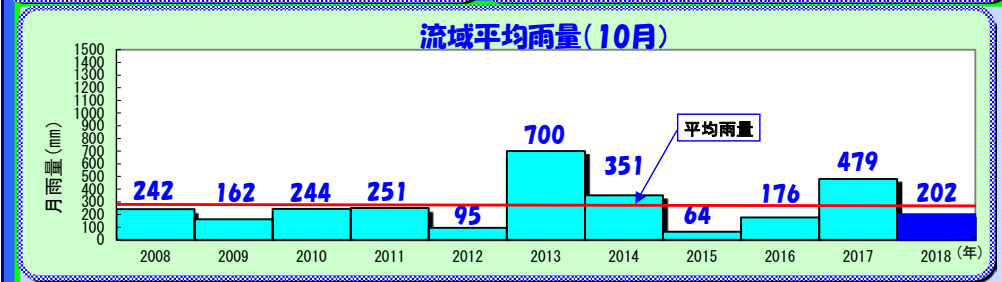
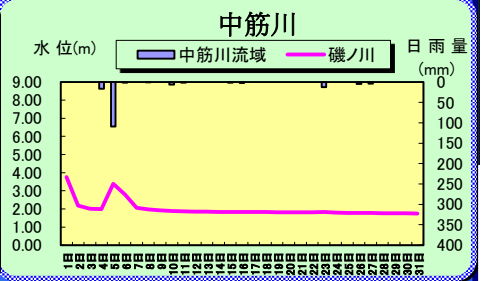
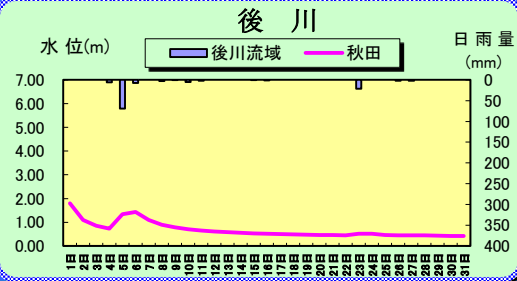
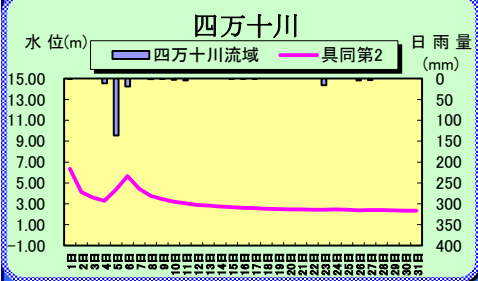
「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

10月の四万十川の様子



雨量・水位データ



10月の四万十川流域平均雨量202mmは平年の0.7程度の雨量です。
 なお、過去10年間の平均雨量は277mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
 ※測定値は全て速報値です。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

「川の防災情報」
 提供
 国土交通省
 水管理・国土保全局